

# ピスガからの風

## 第18号

2008年1月

社会福祉法人 近江ちいろば会

ピスガこうせい 〒520-3242 滋賀県湖南市菩提寺327-4

TEL.0748-74-3900 (代表)

FAX.0748-74-3910

http://chiiroba.jp/

### 「ピスガホールギャラリー」

地域の多くの方に  
出展いただきました。

作品(絵画・書道など)の展示品を求めています。  
1ヶ月程度展示いただければ幸いです。

#### 10月 秋ゆうゆう展

菩提寺及び周辺の芸術家による作品展で、  
それはすばらしい感動を与えて下さいました。



#### 12月 菩提寺北中学校の皆さん

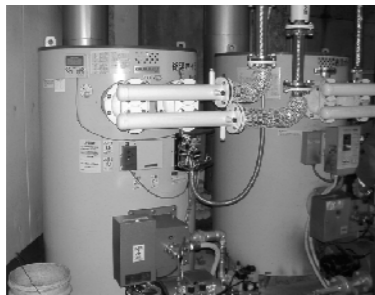
若さ溢れるパンチのある色彩で  
青春を思い出させてくれました。



### “赤い羽根共同募金”の配分 ありがとうございました

この度、多くの皆様から寄せられた、赤い羽根の  
寄附金により「ピスガこうせい」の予備給湯ボイラ  
ーを設置することができました。

現在のボイラー  
と併用することにより、ご利用者様に  
毎日の入浴や給湯の提供を安心して  
行えるようになりました。本当に  
ありがとうございました。



### 後援会の皆様 ありがとうございました

後援会より新しい「中央デイサービスセンター  
しんあい」の送迎車を寄付していただきました。



### 寄付金・後援会費 感謝報告 2007年8月～2007年12月まで

2008年も後援会へのご加入をお願い申し上げます。  
ご協力頂いております方々のご芳名を掲載し、報告と  
お礼とさせていただきます。

(順不同・敬称略)

#### 【後援会費】

アシュラムセンター  
イエスキリスト広野教会  
上柿 京子  
上島 良彦  
内川 庸子  
内海 初子  
大泉 静代  
岡澤 ときの  
片谷 美智子  
勝目 紘  
加藤 和子  
加藤 喬子  
川上 昭子  
金 淑子  
九重 武子  
近藤 喜美子  
齋藤 昭夫  
作野 勲子  
佐田 順子  
鈴木 真志  
鈴木 一隆・妙子  
鈴木 儀平  
扇田 幹夫・紀子

多賀 敦子  
同志社教会  
立石 勤  
田中 ミドリ  
茶畑 重二  
辻 康  
徳田 富美子  
とみおか内科クリニック  
中澤 シツエ  
登 政義  
萩原 正夫  
八子 忠明・美代子  
林 栄子  
原田 潔  
原田 博充  
東嶋 和代  
日吉 文子  
廣瀬 幸一  
堀尾 勝世  
本田 和之  
真壁 日史郎・泰子  
眞柄 正子  
南 俊子  
森口 茂

#### 【寄付金】

河本文京福祉  
振興局  
奈良 馨夫  
坂 しづ江  
高田 和代  
後援会 後宮 俊夫  
草津教会  
バザー委員会  
信愛幼稚園



#### 事業内容

ケアハウス：ピスガこうせい/  
ぼだいじデイサービスセンター  
／ぼだいじホームヘルパーステ  
ーション／ぼだいじ居宅介護支  
援センター／高齢者支援セン  
ター／ぼだいじ／グループホームぼ  
だいじ／中央デイサービスしんあい

発行日 2008年1月  
発行責任者

理事長 奈良 馨夫  
館長 森口 茂

振込  
後援  
口座  
会費

取り扱い金融機関 郵便局  
口座番号 0960-0-109363  
社会福祉法人 近江ちいろば会  
会費：年額1口 5,000円(何口でも可)

### 明けましておめでとうございます。



理事  
後宮 俊夫

最近の広い意味の福祉、  
特に高齢者を巡る世論や  
政治の動きは、高齢者やそ  
の家族・関係者にこの先ど  
うなるのか見通しが立て  
られません。20年近く前に、  
この地にケアハウスを主  
体とする老人福祉事業を  
計画、建設したときから見るとあまりにも目まぐるしい  
変化に驚くばかりです。

計画の当初、バブル期に人々は収入の増加に如何に幸  
せに暮らせるかに懸命でした。そうした中に戦後の窮乏  
生活からの立ち直りに必死に働いた人たちが加齢と共に  
衰え、効率が悪くなると社会的に疎外されるようにな  
りました。この人たちの生活を守ることが、イエス・キ  
リストの望んでおられることと信じて、当時の教会の経済  
的に置かれている財力で何が出来るかを考える中で、

キリストが導かれたのが「近江ちいろば会」の事業な  
のです。入居者がお互いに自分の出来ることで助け合  
っていくなら、皆がここで最後まで生活できるだろう  
と喜んでいました。

現実には、共同生活をする事、助け合っていくこと  
が身体的にも精神的にも難しくなってきました。それ  
にその後の老人の生活は社会保障の切り下げなどで困  
難の度を増しました。本人の年金だけでケアハウスの  
生活が賄えない人が多くおられます。そして更に受益  
者負担の名の元に個人の負担は増えるばかりです。

その上、少子高齢化で働き人が少なくなっています  
ので、もう一度お互いに助け合っていくことを考えな  
くてはならないように思います。



### グループホームの 一泊旅行

11月29～30日



詳しくは見開きをご覧ください

### クリスマス ページェント

12月19日



### 基本理念：人にしてもらいたいと思うことを、人にもしなさい。

私たちはキリスト教の精神に基づいて、高齢者の全生活において、「隣人愛の奉仕」を実施することを基本理念とします。